

令和5年度第2回 三島市民文化会館運営委員会
会議録

○日時

令和6年3月26日(火) 午前10時～午前11時15分

○場所

三島市民文化会館2階 特別会議室

○出席者

(委員) 宮川幸司委員長、原和也職務代理、岩下晶子委員、靱山好実委員、土山如之委員、
中川寛之委員、三田郁江委員、山形眞珠代委員

(欠席：三室隆委員、川瀬義人委員)

(事務局ほか)

三島市：西川産業文化部長、加藤文化振興課長、菊池文化振興係長、中島主査
指定管理者：望月館長、松下副館長、佐藤副館長

○会議の公開・非公開

公開

○傍聴人

0人

○会議次第

- 1 開会
- 2 部長挨拶
- 3 議事

- (1) 令和5年度決算見込みについて
- (2) 令和5年度施設利用状況について
- (3) 令和5年度自主文化事業実施状況について
- (4) 令和5年度光熱水費支払い状況について
- (5) 令和6年度予算・収支計画について
- (6) 令和6年度自主文化事業実施予定について
- (7) その他 第5期指定管理者更新スケジュールについて

○会議内容

- 1 産業文化部長挨拶
- 2 議事

—これより委員長による議事進行—

- (1) 令和5年度決算見込みについて

- (2) 令和5年度施設利用状況について
- (3) 令和5年度自主文化事業実施状況について
- (4) 令和5年度光熱水費支払い状況について

資料1～資料4に基づき事務局（市と指定管理者）から説明があった後、次のような意見交換及び質疑応答がされた。

委員：以前、館長が県東部ではこちらの文化会館の利用率が高いという話をしていたと思うが、私たち文化団体が抽選に行くと、土日は自主文化事業が入っていて予約が取れないことが結構ある。もちろん自主文化事業等をやっていかなければいけないと思うが、市民目線から考えると土日の予約が取れないことが今すごく多いと感じる。来年度は難しいと思うが、今後、もうちょっと土日に市民が使える枠を増やすことを検討していただきたい。

事務局：来年度の事業に関してはもうすでに決まっている部分もある。再来年度については指定管理の更新時期に当たるので、仮に継続が決まった場合は、委員のご意見を心に留めながら、できる範囲で検討したいと思う。現在、平日の事業として「昭和歌謡コンサート」を開催しているが、年配の方に大変好評で毎回完売している状況。来年度の自主事業でも平日公演が即日完売しているものもある。平日の自主文化事業は、公演料がチケット代や集客に見合うもの、年配の方に足を運んでもらえるような内容を検討していきたい。

委員：自主文化事業にある「三島ゆうゆう祝祭管弦楽団コンサート」の市民文化会館の立ち位置はどうなっているのか。

事務局：立ち位置は共催事業になっている。プロとアマチュアの奏者による混成オーケストラで、県東部の音楽水準の底上げに寄与することから共催としている。会場は先行予約をしている部分もあるが、練習については予約が入っていないところで調整している。文化会館としては、公演に対しては予算的な支援はしていないが、会場の部分とチケット販売に関して協力をしている。

委員：他の団体の予約が難しい中で、「三島ゆうゆう祝祭管弦楽団」が優先的に予約できるのはおかしいという声を聞いたので伺った。

事務局：共催であり、自主文化事業でもあるので優先予約としているが、皆さんからそういう声がたくさんあり、予約が取りにくい状況であるなら、その辺のところを「三島ゆうゆう祝祭管弦楽団」の事務局と話をしたいと思う。

委員：いろいろ共催事業があるが、共催の形は団体によって異なるのか。

事務局：共催先によって条件は異なる。一番多いのは、会場使用料を免除する代わりに公演料は一切先方持ちというパターン。文化会館としては興行収入のリスクがない上、チケット販売手数料が入る。共催先によっては会場費を折半という場合もある。その辺りは事業を決定する前段階での折衝のなかで決めている。

委員：共催事業について規約などで明確に分かると一般の人も納得できていいと思う。

委員：自主文化事業は、収入面と動員者数、文化・芸術振興的な面のバランスが重要だと思いが、時としてバランスを崩して赤字になってしまったのではないか。1月7日の「井上姉妹×ベノワ・ミロゴ」の入場者が57名と少なかったが、どういう内容だったのか。また令和4年度の電気料金が高かったのは、基本料金が高かったのか。

事務局：「井上姉妹×ベノワ・ミロゴ」は、市民にアフリカミュージックを鑑賞してもらう機会を設けたいと開催したが、入場者数は確かに少なかった。興味のある方はいたが、積極的に足を運ばせる魅力がなかったため、赤字になった。やはり、テレビやSNS、YouTubeで人気がある方はチケットが非常に早く売れるので赤字にはならないが、市民にクラシックなど、いろいろなジャンルに関心を持っていただく機会を提供したいので、その辺のバランスを取るのに毎年苦労している。

電気料金については、燃料調整額や再生可能エネルギーの単価への国の補助が支給されているので単価が下がっているだけで基本料金が下がっているわけではない。いつまで補助金が続くのかによって、これからの電気料金が変わってくると考えている。

委員：私はNPOやまちづくりもやっていて思うのは、定着しているイベントについてもそうだが、紙ベースで全小学校の一人一人に紙を配布するというのもいろいろな市町でできなくなってきたいて、これからはポスター1枚程度になってしまう。他の文化事業も含めて、SNSや学校で使っているタブレット端末を活用して情報発信していく、プラットフォームみたいなものを市の方でつくってもらえると、市民の皆さんも今日はどこに行こうかなって思ったら、調べて見に行けるので、その様なものができるとうれしいと思っている。

委員：ホールほどではないが会議室の予約が取りにくい。例年、土日に複数の会議室を借りてイベントを開催しているが、一つでも会議室に予約が入っていると、日を変更しなければならない。なかなか難しいと思うが、毎年継続的に会議室を借りているところは、優先的に予約が取れるようにしてほしい。

事務局：今予約の受け付け状況だと、やはりどこかが入ってしまっていると難しい。予約は1年前からなので、すでに会議室の予約が入っている状況は、特別予約が考えられる。特別予約は、市の主催や全館を利用する催物、団体の10年単位の区切りの行事などで、特別予約の申請を出してもらい、指定管理者が判断して部屋を押さえている。それ以外の形で優先予約ができる方法は見つからないが、調整できる範囲で対応させていただく。

委員：自主文化事業の情報発信は、三島市のLINEでやっているか。

事務局：自主文化事業は、広報みしまに掲載しているが、LINEでの発信はいつも行っているわけではない。

委員：できるだけ、いろいろなツールを使って、広く広報をしてほしい。

(5) 令和6年度予算・収支計画について (市・指定管理者)

(6) 令和6年度自主文化事業実施予定について（指定管理者）

資料5～6に基づき事務局（市と指定管理者）から説明があった後、次のような意見交換及び質疑応答がされた。

委員：来年度の収支計画だが、下水道料金の値上げを見込んでいるか。

事務局：見込んでいる。電気料金の見込みは難しいが、光熱水費は実績に近い数字にしている。

委員：自主文化事業の予定で「三島ゆうゆう祝祭管弦楽団コンサート」が7月7日だけになっているが、3月3日に開催されたコンサートでのお知らせに、11月10日、2月23日開催の案内があったがどうなっているのか。

事務局：会場は押さえているが、事務局と細かい詰めの話ができていないので予定表に記載しなかった。

委員：小ホールでチケット2千円のコンサートをやったときに、高いと言われた。アフリカミュージックの入場者が厳しかったと説明があったが、小ホールでのコンサートは3千円でも高いと思う人がいるかもしれない。来年度の自主文化事業に寄席がまだ入ってなかったのも、またそういう楽しいお話の講演があったらいいと思う。もう一点、オンラインの録画配信などができるといふ宣伝を見たが、令和6年度の自主文化事業に反映されているところがあるのか、それとも、一般的な利用で反映されていくのか？

事務局：自主文化事業だと、「静岡がんセンター公開講座」が、オンラインとWeb配信、リアルステージという形で開催している。オンラインに関しては、大きいものについては学会関係などで使われたり、あとは会議室でもズームで会議をしたりするケースはある。三島は東京からのアクセスがよく、東京の企業の方もズームでの会議なので、あまり場所は関係ないということで、会議室を借りるケースがあり、年々増える傾向にある。

委員：ユーチューバーとか、SNS、ネット上で活躍している方たちの公演の集客率もとてもよかったという話だが、そういう方たちが、実際に演奏しているのを録画して、その後配信、もしくはライブ配信をするといったような形の利用というのは、これまでにあったか、または今後ありそうか。

事務局：コロナの時には、リアル体制ができないということもあって小ホールを借りて、ライブをWeb配信という形でされた方はいたが、今現在はもうリアルで開催できるようになってきているので、今年度の事業でいうと、ステージの様子を、生やアカーカイブで配信する事業というのは、「静岡がんセンター公開講座」以外にはなかった。

委員：仕事の関係で若い人たちと接することも多いが、本当にしょっちゅう動画を見ている。若い方たちが文化に接する過程では、どうしても公開されている動画などは影響が大きいと思うので、積極的にメールを送るのがいいのか分からないが、こういったホールの状況を共有する可能性がある。そういうことができるということが、利用者にもっと伝わってもいいのかなと思う。

委員：他のホールでは、昼間のランチタイムにワンコインコンサートを開催しているが2か月前に席が完売。昼間なので高齢者が多く、近くでないと行けないという方が来ていたが、感想を聞いたら好評だった。市民文化会館でも平日の大ホールの稼働率を上げる参考になるのではないか。

委員：文化会館改修の際、屋外広場ができたので、芸術祭の時、市文協の団体が演奏したが、料金は有料だった。聞いたら、せっかく屋外広場を作ったので、発表の場として、定期的に利用団体を無料で募集したらどうか。

委員：屋外広場は傾斜の問題があり、お客さんが演奏を見ているのは厳しい。コロナの時に、継続して屋外ステージの実証実験を行っていたが、結果はどうだったのか。

事務局：今年度については、花のまちフェアに合わせて、花・音・ストリートという形で、1団体30分ということで公募をしたが、チェロとか、オカリナとかいろいろな楽器の団体が出演してくれた。今回はアンプなどの使用を認め、市の主催事業ということで出演団体は無料とした。確かに屋外広場は傾斜があり、観客用の椅子を並べるのもちょっと危険だったので、椅子を用意しないで開催した。屋外広場に大勢集まってしまうと、ホール利用者との混雑もあったりするので、その辺は指定管理者と毎月行っている定例会議の中でも検討している。文化の拠点としてこの文化会館が位置付けられているので、市民の方に親しんでもらえる施設となるように、屋外広場の活用については今後も検討していく。

委員：先ほど、告知について聞いていて、紙媒体での周知は衰退化していると痛感している。若い人たちについてはまた違う告知の仕方が、安価でできることもあるので、ぜひその方向に行ってもらった方がいいのではないか。

(7) 第5期指定管理者更新スケジュールについて（市）
資料7に基づき事務局（市）から説明